

東経連の輸出に関する取組について

2022年2月



一般社団法人 東北経済連合会

交流政策グループ

1. 背景・目的

【背景】人口減少・少子高齢化による国内マーケット縮小や後継者・担い手不足

【目的】輸出による海外需要の取り込み ⇒ 生産者の所得向上

《東経連のビジョン『わきたつ東北』》

東北の目指す姿(2030年目途)

わきたつ東北

～結び、はぐくみ、未来をひらく～

3つの柱

地域社会の
持続性と魅力を
高める

稼ぐ力を高める

交流を加速する

新ビジョンの推進に当たって

- 「東北は一つ」の基本理念の継承
- 産学官連携から「産学官金による共創」の取組みにレベルアップ
- 「従来の経済活動の枠組みを超えて」理想の地域社会実現に関与

《2020 ポストコロナ・5つの提言》

ポストコロナ・5つの提言

ー 東北が地方分散のトップランナーとなるために ー

■ポストコロナにおいて、東北が多様な暮らし方・働き方が可能な「地方分散のトップランナー」となるために、以下の5つを提言する。

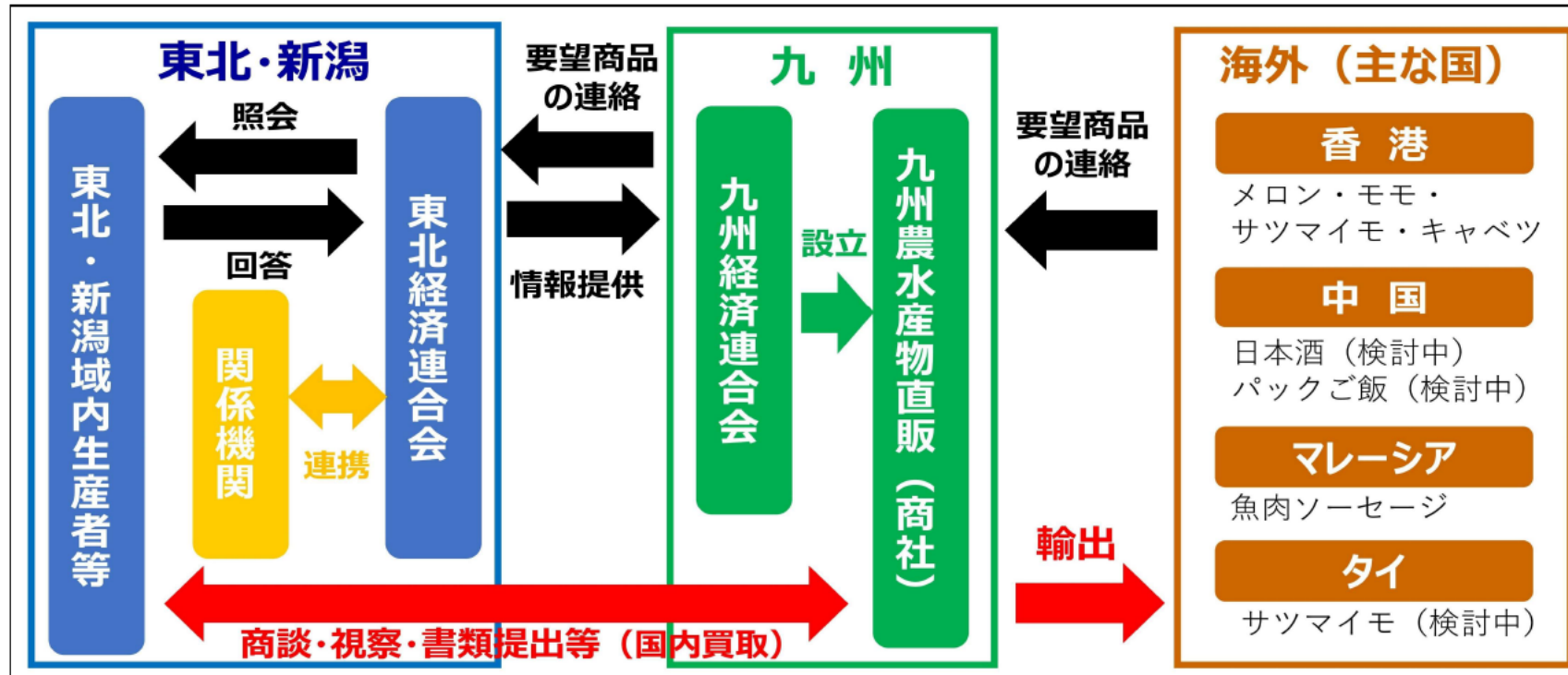
1. 「デュアルライフ東北」の実現
2. デジタル化、その先の DX の推進
3. 地域産業の自立と成長
4. 農産逸品の輸出拡大
5. 潤う・潤す観光

地方分散のトップランナー
「わきたつ東北」へ

2. 取組

《九州と連携した取組（2018～）》

（1）取組概要（九州・関係機関と連携した輸出事業スキーム）



【東経連の役割】

- 東北・新潟の関係機関（国・地方公共団体・J A全農等）とのネットワーク構築
- 海外バイヤーのニーズを踏まえた地域産品の情報収集及び掘り起こし
- 東北・新潟の生産者・商社等と九州農水産物直販とのマッチング

【連携のメリット】

- 九州だけで対応できない大きな商流を東北につなぐ（香港デイルーファームグループ等）
- 気候・収穫時期の違い等を活かし、商材の多様化やリレー出荷が可能
- 災害・病虫害等のリスク分散が可能（サツマイモ基腐病等）

【参考】九州農水産物直販の強み＝香港DairyFarmグループとの直接取引

◆Dairy Farmグループ概要

- ・香港に本社を置くイギリス系複合企業「ジャーディン・マセソン・ホールディングス」傘下
- ・食品部門の年商約1兆円7,000億円
- ・香港をはじめ東南アジア13か国に展開 スーパー約2,000店舗（うち香港300店舗）

香港の小売市場は、Daily Farm GroupとA.S.Watson Co.Ltd. の2社のグループ店舗による寡占状態であり、売上高の約80%程度を占めると推定。その他、中～高所得層向けの日系小売や百貨店が追随している。

地場系大手小売



Daily Farm Group

Wellcome (274店舗)
MarketPlace by Jasons(4店舗)
ThreeSixty (2店舗)
Oliver's the Delicatessen
Central (1店舗)
その他、7-eleven等



A.S.Watson Co.Ltd.

Park'n Shop (301店舗)
Taste (4店舗)
great (1店舗)
Gourmet (1店舗)
fusion Park'n Shop
(22店舗)

日系小売・日系百貨店

AEON (18店舗)
APITA/UNY/PIAGO (3店舗)
YATA Department Store (3店舗)
SOGO Hong Kong (1店舗)



その他スーパーマーケット・百貨店

CitySuper (18店舗)



(2) 実績

- ・関係機関と連携した生産者の発掘等の成果として、輸出支援実績は着実に増えている。
- ・11月から宮城県産サツマイモの本格輸出が実現（2月・4月 各3トン → 11月～3月 計約120トン）。

年月	輸出先	産地	品目	量
2019年7月	香港	山形県	メロン	300ケース（1ケース5玉）
2021年2月	香港	宮城県	サツマイモ	約3トン（1ケース10kg 300ケース）
2021年4月	香港	宮城県	サツマイモ	約3トン（1ケース10kg 300ケース）
2021年7月	香港	山形県	メロン	48ケース（1ケース5玉）
2021年8月	香港	青森県	モモ	96ケース（1ケース5～6玉）
2021年10月	マレーシア	宮城県	魚肉ソーセージ	22ケース（1ケース40パック）
2021年11月～ 2022年3月	香港	宮城県	サツマイモ	約120トン (1ケース10kg 12,000ケース)
2021年11月	香港	宮城県	キャベツ	630ケース（1ケース8玉）



(3) 今後の課題

- ・更なる輸出実績の積み上げ。
- ・東北・新潟の空港・港湾の利活用（現状は、リードタイムの関係上、東京港・羽田空港から輸出している）。